

数字で読み解く滋賀医科大学



開学

1974年

50周年を
迎えました

湖国とともに、
世界に羽ばたく
医療のあゆみ半世紀、
さらなる飛躍へ



！チェック！
50周年記念ウェブサイト



50周年を迎えて、これまで本学に関わってくださった皆さまに感謝の気持ちを胸に、これから先の50年に向かってあゆみを進めてまいります。今後も滋賀医科大学へのサポートをよろしくお願いたします。

教職員数

2024年5月

1,464人

（女性比率）

教職員全体 63.2% 教員 26.7%
女性 女性

国立大学の女性教員比率は少しずつではありますが、年々高くなっています。医科系大学の比率は26.4%*で本学はわずかながら上回っています。本学では性別問わず活躍できる環境づくりを推進しています。（⇒男女共同参画セクションp.54-57もご覧ください。）

* (出典) 文部科学省「学校基本調査」(2024)

学生数

■ 男子学生 ■ 女子学生 2024年5月

学部生 914人

大学院生 208人

医学科 385人 289人
674人

医学専攻 109人 57人
166人

看護学科 10人 230人
240人

看護学専攻 9人 33人
42人

地域枠学生(第1学年)
医学科 16.8%
看護学科 16.7%

留学生比率 16.0%
社会人大学院生 68.9%



合計 1,122人



513人

男女比

45.7% 54.3%

609人

教員1人あたりの 学生数



教員

学生

1:2.7

2.7人の学部学生に1人の教員
国立大学平均ST比1:9.2

本学は医療系大学ですので、総合大学である他の国立大学の平均9.2人に比べると、学生数に対し教員数が多く手厚い教育環境があると言えます。本学では一人ひとりの学生に丁寧で温かい指導を心がけています。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」(2024)

2023年度

卒業者の 滋賀県内進路状況

医学科

43.9% 16.4%

2018年度入学生
滋賀県出身者割合

看護学科

61.4% 51.7%

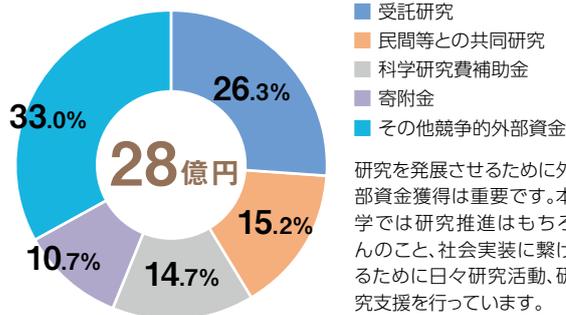
2020年度入学生
滋賀県出身者割合



2023年度は例年より看護学科卒業生の県内就職者の割合は高くなりました。看護学科の入学時の滋賀県出身者割合が例年より少し高かったからかもしれません。医学科をみまると、入学時の滋賀県出身割合と比べ県内への就職等の割合は大きく増えていました。県内・県外出身にかかわらずたくさんの卒業生が滋賀県で働いていることは「地域への貢献」に繋がっていると考えています。

外部資金受入額

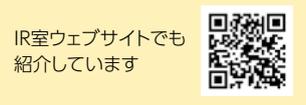
2023年度



研究を発展させるために外部資金獲得は重要です。本学では研究推進はもちろんのこと、社会実装に繋げるために日々研究活動、研究支援を行っています。

「民間企業との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額でランク入り(全国20位)しました(⇒研究セクションp.34)

大学ファクトブック2024
(一社)日本経済団体連合会



科学研究費採択率

2023年度

31.3% **全国平均** 27.5%

「若手研究者の育成に力を入れています」



特に「若手研究(39.2%)」や「研究活動スタート支援(80.0%)」の採択率が高いのが本学の特徴です。「No申請, No採択」で科学研究費申請、獲得のための支援を行っています。

特許の実施許諾率

大学ファクトブック2024
(一社)日本経済団体連合会

第2位
49.6%

特許保有件数は総合大学と比べ少ないですが、実施許諾率は高く、研究成果が社会還元されていると言えます。

国家試験

本学の国家試験合格率はここ数年全国平均を上回っています。合格は医療人としての旅立ちに必要ですが、どのような医療人になっていくのかという視点もとても重要です。本学の使命と理念のもと学び、卒業時には知識や技術に加え、確固たる倫理観を持った医療人として本学から送り出すことができるよう取り組んでいます。

第4期中期計画 評価指標

医師
新卒学生の国家試験合格率

目標

6年間平均 95%以上とする

看護師・保健師・助産師
新卒学生の国家試験合格率

目標

6年間平均 98%以上とする

— 滋賀医科大学
— 全国平均
グラフは既卒者を含んだ合格率です。

医師国家試験合格率



看護師国家試験合格率



保健師国家試験合格率



助産師国家試験合格率

